

12月7日(日)、世界各地で37万人が日本語能力試験に挑戦！ ベトナム、ミャンマーの応募者数は3割以上の伸び

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、12月7日(日)に、海外65の国・地域の209都市で、日本語能力試験(JLPT)を実施します。この試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験として世界最大規模であり、今年で30周年を迎え、これまでに国内外で延べ755万9,827人が受験しています。

2014年第2回(12月)日本語能力試験の概要

【実施日】: 2014年12月7日(日)

【実施都市】: 海外65の国・地域、209都市、日本国内45都道府県

* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施

【応募者数】: 約37万人(海外約28万人/日本国内:約9万人)

【実施レベル】: N1~N5の5レベル (N1が最も難易度の高いレベル)

* レベル毎の認定(合格)の目安は、下表参照

今回初めて試験を実施する都市: アルバイヘル(モンゴル)、コロンバス(米国)、
ボルダー(米国)、ストラスブール(フランス)、
アストラハン(ロシア)、ヨハネスブルク(南アフリカ)

応募者数が東南アジアで19%、南アジアで20%の伸びを示しました。 (いずれも2013年第2回試験との比較)
国別に見ると、ベトナムで37%、ミャンマーで38%、スリランカで28%の伸びが見られました。

- ベトナム** : ハノイ、ホーチミン、ダナン 3都市で実施。応募者数計 23,232名(前年応募者 16,981名、37%増)
日系企業の増加、日本留学希望者の増加が見られ、高校生、大学生、社会人の受験が増
- ミャンマー** : ヤンゴン 1都市で実施。応募者数計5,636名(前年応募者 4,080名、38%増)
日系企業の増加、日本での就労・留学希望者の増加が見られ、大学生、社会人の受験が増
- スリランカ** : コロンボ1都市で実施。応募者計1,753名(前年応募者計1,374名、28%増)
日本の留学・研修機会の促進が見られ、受験者が増加

日本語能力試験 レベル別の認定(合格)の目安	
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 活用例: 高度人材に対する日本出入国管理上の優遇制度でのポイント付与 厚生労働省所管の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。 活用例: 日ベトナムEPA:看護師・介護福祉士候補者の選考基準
N4	基本的な日本語を理解することができる。
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる。

本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 日本語試験センター(担当:小長谷、鶴井、木村)

Tel: 03 - 5367 - 1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

ご取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03 - 5369 - 6089 / Fax: 03 - 5369 - 6044 / E-mail: press@jpf.go.jp